

環境王国「いわて」を担う
いわて第2クリーンセンター

環境経営レポート 2021

(2020年度実績報告)

対象期間 2020年4月1日~2021年3月31日



いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 生藤 勇

発行日 2021年7月9日

もくじ

1. 会社概要	P1
2. 事業概要	P2
3. 施設概要と特徴	P3
4. 許可品目	P5
5. 環境経営方針	P6
6. 組織図	P7
7. 役割と責任・権限	P7
8. 環境目標と活動実績	P8
9. 環境活動の結果と評価	P8
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	P13
11. 代表者による全体の評価と見直し	P13
12. 環境保全活動	P13
13. 資格・免許・認定	P15

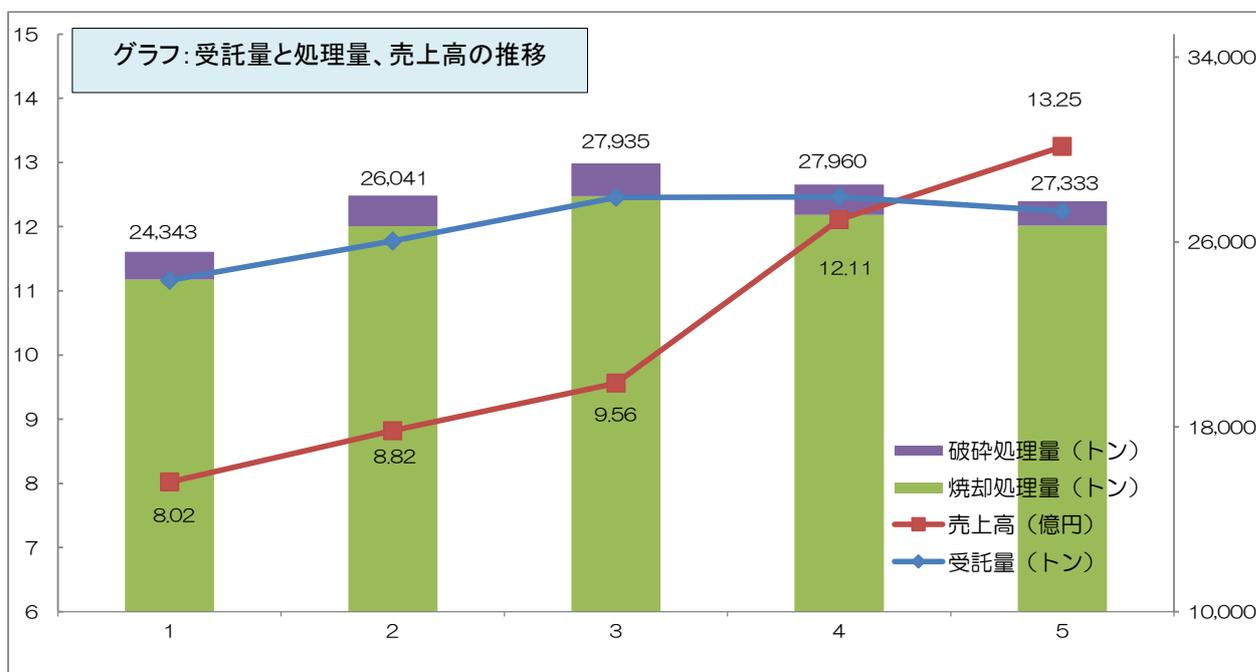


1. 会社概要 (2021年7月1日現在)

会社名 : いわて県北クリーン株式会社
 施設名 : いわて第2クリーンセンター
 所在地 : 〒028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第20地割48番地34
 代表者 : 代表取締役 生藤 勇
 業務開始 : 2009年4月(設立:2006年4月)
 資本金 : 9,000万円
 株主 : 株式会社タクマ ・ 株式会社タクマテクノス ・ 西松建設株式会社
 事業内容 : 産業廃棄物の中間処理業 ・ 一般廃棄物の処理業 ・ 売電事業
 従業員数 : 42名
 事業面積 : 約70,000㎡
 EA21 認証登録範囲 : 全組織 ・ 全活動
 環境管理責任者 : 村田 英敏 ・ コミュニケーション窓口 : 村田 英敏
 TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550
 Mail info@iwate2cln.co.jp URL <http://www.iwate2cln.co.jp>

会社の沿革：

- 2006年 4月 12日 : 株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
- 2007年 10月 30日 : 環境大臣による廃棄物処理センター指定
- 2008年 3月 29日 : 産業廃棄物処理施設の設置許可取得
- 2009年 1月 7日 : 産業廃棄物処理施設の処分業許可取得 (許可番号: 00329146787)
- 2009年 1月 7日 : 特別管理産業廃棄物処理施設の処分業許可取得 (許可番号: 00379146787)
- 2009年 4月 1日 : 事業開始
- 2009年 6月 8日 : 一般廃棄物処理施設の処分業許可取得
- 2009年 6月 30日 : 基準適合産業廃棄物処理業者認定 (中間処理★★取得)
- 2010年 2月 15日 : エコアクション21取得
- 2012年 8月 30日 : いわて地球環境にやさしい事業所認定 ★★★★★取得
- 2014年 11月 11日 : 産業廃棄物処分業の事業範囲の変更 (破碎中間処理追加)
- 2015年 5月 15日 : 産業廃棄物処理施設設置許可取得 (破碎中間処理施設設置)
- 2015年 5月 28日 : 産業廃棄物処分業の事業範囲の変更 (破碎中間処理追加)



2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とする PFI 事業で運営を行っています。岩手県の「自県内処理の推進」及び「資源循環型社会の形成」に基づき、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「溶融設備」・「破碎設備」があり、あらゆる性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、安定的かつ安心な施設となっています。

3. 施設概要と特徴

施設名称 : いわて第2クリーンセンター
設置規模 : ロータリーキルン&ストーカ炉 87.9 t/日 ×1 基
燃料式表面溶融炉 13t/日 ×1 基
破碎施設 ×2 施設
ボイラー型式 : 三胴式廃熱ボイラー
最高使用圧力 : 3.30 MPa
常用使用圧力 : 2.90 MPa
蒸気温度 : 241℃
最大蒸発量 : 10.2 t/h
タービン形式 : 復水タービン
最大発電出力 : 840 kW



排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1.0	0.1
SO _x (ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
NO _x (ppm 以下)	250	100
塩化水素 (ppm 以下)	430	80
ばいじん (g/m ³ N 以下)	0.08	0.02

多種多様な廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の適正処理

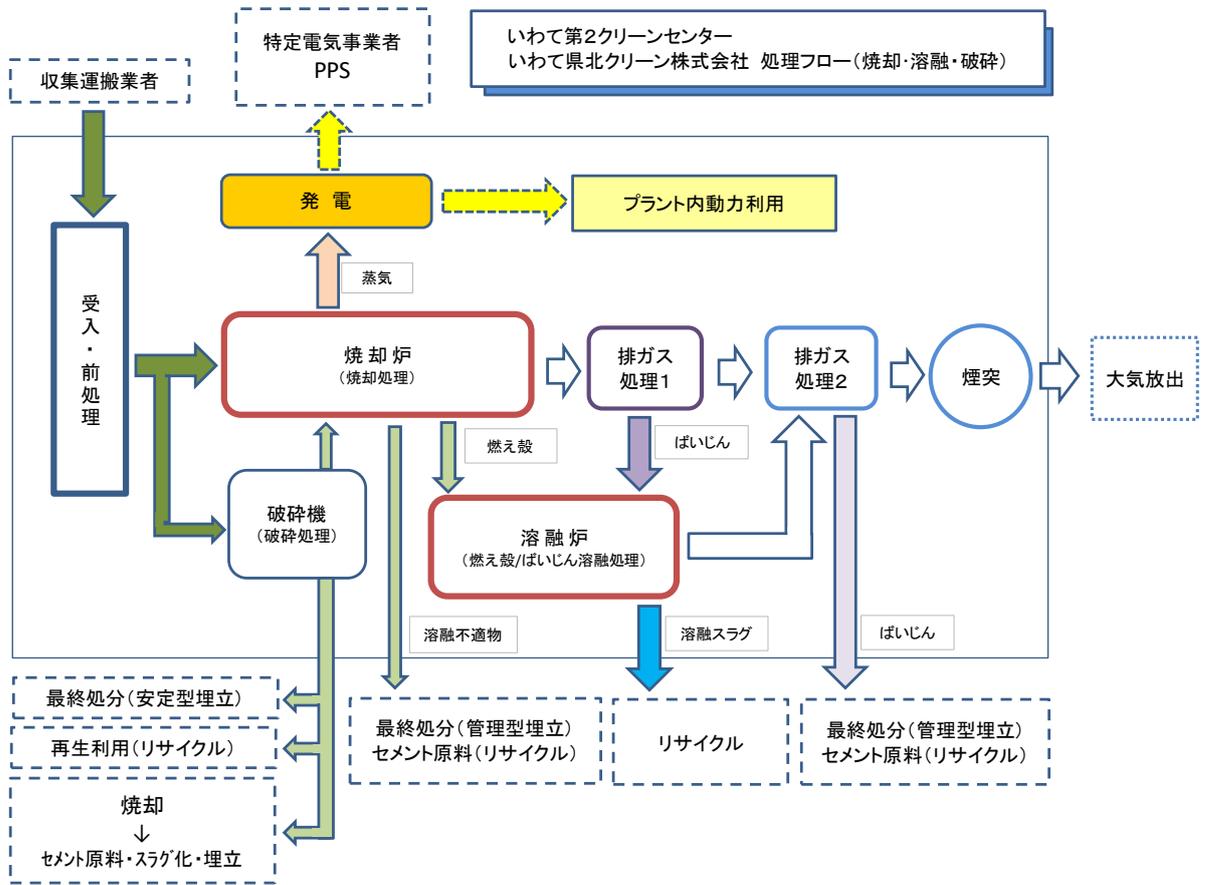
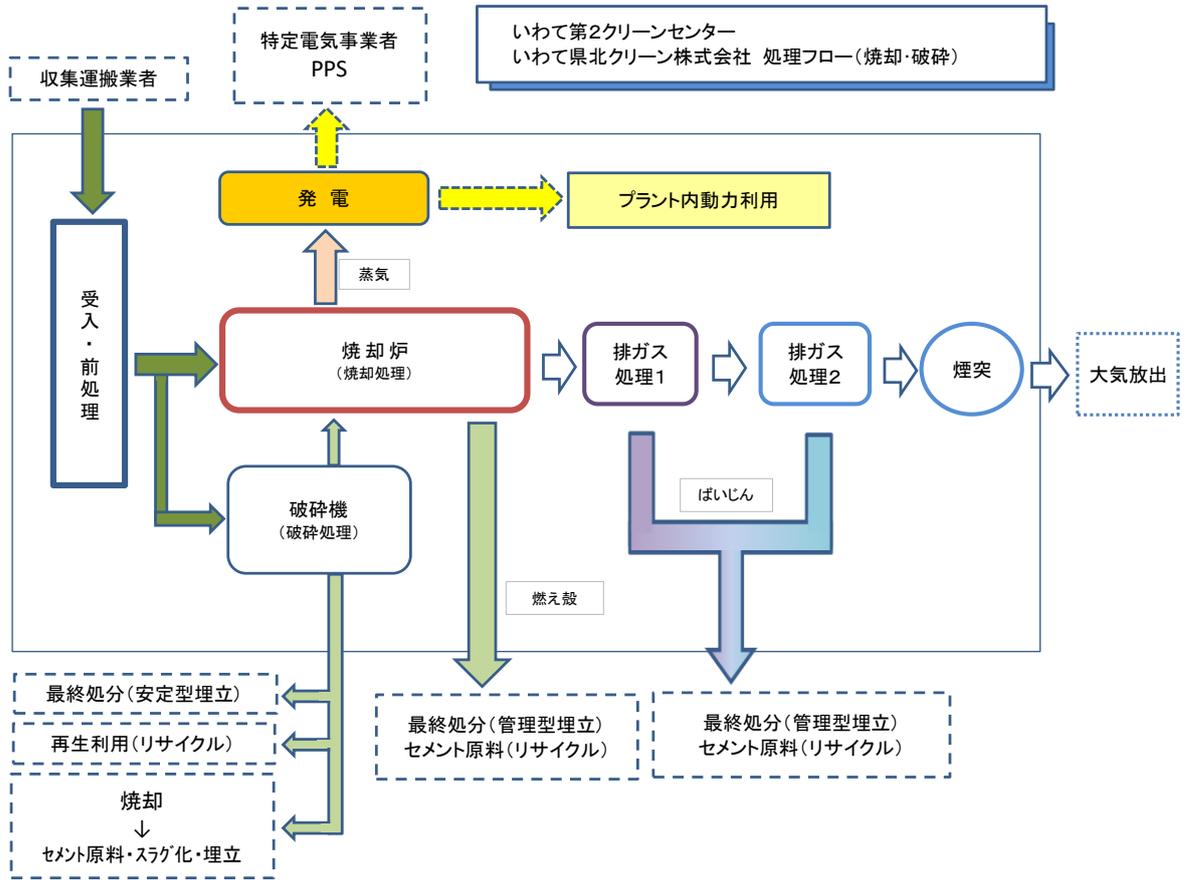
- ◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
 - ・ 焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値） ※法規制値 800℃以上
 - ・ 溶融炉内温度 1300℃以上

省エネ・資源リサイクルの促進

- ◎ 蒸気タービン発電機 最大 840 kW（発電設備） ※廃熱ボイラー蒸気利用
施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電

周辺環境への配慮

- ◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
- ◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
- ◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策床基礎の導入
- ◎ 臭気を外部に放出させない換気システム



4. 許可品目

焼却施設

- 産業廃棄物

- ① 燃え殻 ② 汚泥 ③ 廃油 ④ 廃酸
- ⑤ 廃アルカリ ⑥ 廃プラスチック類
- ⑦ 紙くず ⑧ 木くず ⑨ 繊維くず
- ⑩ 動植物性残さ ⑪ 動物系固形不要物 ⑫ ゴムくず
- ⑬ 金属くず ⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑮ 動物のふん尿

許可番号：00329146787

許可年月日：令和2年2月26日

許可有効年月日：令和6年1月6日

- 特別管理産業廃棄物

- ① 廃油 ② 廃酸 ③ 廃アルカリ ④ 感染性産業廃棄物
- ⑤ 燃え殻 ⑥ 汚泥

許可番号：00379146787

許可年月日：平成31年1月7日

許可有効年月日：令和6年1月6日

- 一般産業廃棄物

- ① 事業系一般廃棄物又は処理困難一般廃棄物

許可年月日：令和3年6月8日

許可有効年月日：令和5年6月7日

溶融施設

- 産業廃棄物 ① 廃プラスチック類 ② 汚泥

- 特別管理産業廃棄物 ① 汚泥

破碎施設

- 産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類 ② 紙くず ③ 木くず ④ 繊維くず ⑤ ゴムくず
- ⑥ 金属くず ⑦ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑧ がれき類

環境経営方針

《基本理念》

いわて県北クリーン株式会社は、多種多様な廃棄物を安全かつ適正に処理する事業を社会インフラとして捉え、地域の社会経済活動を支えるとともに、省エネ・創エネの促進に努めます。また、災害時には被災地の復興に最大限の協力をします。

《行動指針》

1. 廃棄物を資源として捉えたりサイクルや、熱エネルギーを有効的に利用した環境負荷の低減による地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。
2. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
 - (1) 安定した電力供給に努めます。
 - (2) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
 - (3) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
 - (4) 水の使用量削減に努めます。
 - (5) 化学物質の適正使用に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境経営方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を深め、積極的に取り組みます。

制定：2010年5月 1日

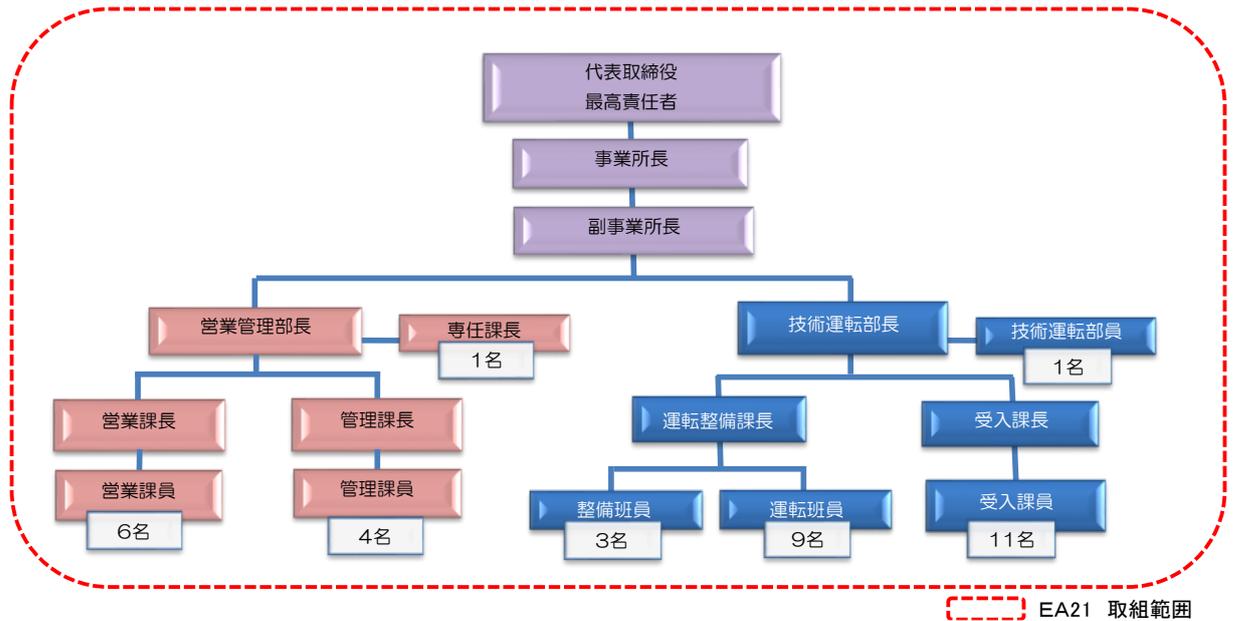
改定：2020年7月 1日

いわて第2クリーンセンター

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 **生藤 勇**

6. 組織図 (2021年7月1日現在)



7. 役割と責任・権限

役割	担当者	役割と責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組に対する資源を用意 ④環境方針を作成する
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告 ③必要な教育訓練を計画し実施
E A21 事務局	営業管理部	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へE A21 の目標数値を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告
防災責任者	防火管理者	①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	事業所長	①安全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	営業管理部長 技術運転部長	①取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	①取組み項目に対して積極的に実施 ③ 環境保全活動への積極的な参加

8. 環境目標と活動実績

中長期の環境経営目標の策定

No.	項目	単位	基準値 2019年	中期目標 2020年度	中期目標 2021年度	長期目標 2022年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	6.3	5.9	5.8	5.8
2	重油使用量の削減	ℓ/t	2.05	0.87	0.85	0.85
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	3.24	2.38	2.35	2.35
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.35	0.31	0.30	0.30
5	上水使用量の削減	m ³ /t	0.51	0.48	0.48	0.48
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO ₂ /t	16.1	12.7	12.6	12.6
7	発電電力量の増加	kWh/t	235.5	224.0	225.0	225.0
8	廃棄物受託量の増加	t/年	27,966	29,500	29,500	29,500
9	化学物質の削減	ℓ/年	80.2	119.0	119.0	119.0

各年度目標値に対する達成度

■ 目標達成 ■ 目標未達
※達成判定は90%以上とする

	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	8.4	7.6	4.5	6.3
2	重油使用量の削減	ℓ/t	2.10	1.61	0.89	2.05
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	2.57	2.37	2.37	3.24
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.39	0.35	0.32	0.35
5	上水使用量の削減	m ³ /t	0.51	0.50	0.48	0.51
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO ₂ /t	12.2	13.3	12.8	16.1
7	発電電力量の増加	kWh/t	240.6	219.8	222.9	235.5
8	廃棄物受託量の増加	t/年	24,343	26,041	27,935	27,960
9	化学物質の削減	ℓ/年	118.8	96.0	118.8	89.1

9. 環境活動の結果と評価

「受電電力量の削減」

2020年度 目標 5.9kWh/t
 2020年度 実績 6.7kWh/t
 2020年度 総量 185,440kWh
 達成率 86.8%

取組内容

安定的な発電により受電電力を削減できるように投入ゴミの熱量を均一化する。

活動結果と評価

焼却炉の設備トラブルとタービンの立上げ下げ、ごみの受入量の減少による立下げ等があり未達となった。

*令和2年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.000040 (t-CO₂/kWh)

受電電力量の削減 (kWh/t)



< 2021年度 目標 5.8kWh/t >

取組内容

投入ゴミの内容の把握と、その熱量の予測による安定運転を行う。

「 重油使用量の削減 」

2020年度 目標 0.87 ℓ/t

2020年度 実績 1.44 ℓ/t

2020年度 総量 30,132 ℓ

達成率 60.4%

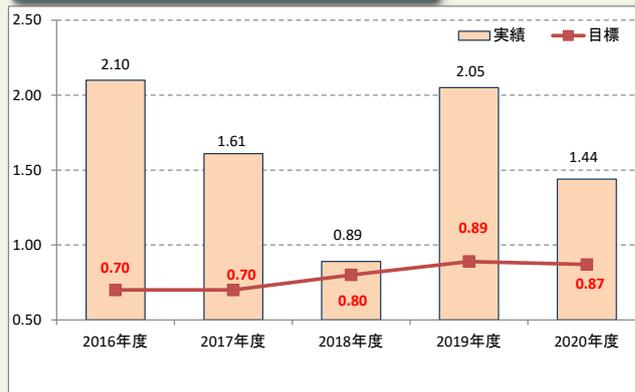
取組内容

クリンカを付着させない運転を心がけ、
不要な立下げをしない。

活動結果と評価

カロリー調整のためバーナーを点けて運
転をした。

重油使用量の削減 (ℓ/t)



<2021年度 目標 0.85 ℓ/t>

取組内容

カロリー調整に、A重油ではなく、廃油等の代替
物を検討する。

「 軽油使用量の削減 」

2020年度 目標 2.38 ℓ/t

2020年度 実績 3.09 ℓ/t

2020年度 総量 85,696 ℓ

達成率 77.1%

取組内容

- ・無駄なアイドルリングをしない。
- ・作業中、なるべく負荷をかけない運転
を心がける。

活動結果と評価

作業の方法や手順を試行錯誤したが、
作業内容の変化などにより、思ったよう
に燃料削減につながらず未達となった。

軽油使用量の削減 (ℓ/t)



<2021年度 目標 2.35 ℓ/t>

取組内容

- ・無駄なアイドルリングをしない。
- ・低負荷を心がけ一層のエコ運転に努める。

「 ガソリン使用量の削減 」

2020年度 目標 0.31 ℓ/t
 2020年度 実績 0.26 ℓ/t
 2020年度 総量 6,983 ℓ
 達成率 121.3%

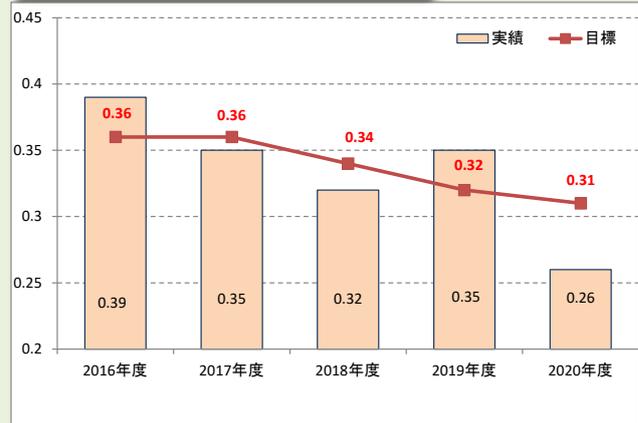
取組内容

計画的な運行計画により、無理な運転を避けてエコドライブ運転に努める。

活動結果と評価

コロナにより客先訪問が減少し、車両を使用する回数が減少し、結果として目標達成となった。引き続き、計画的な運行計画、エコドライブを意識する

ガソリン使用量の削減 (ℓ/t)



<2021年度 目標 0.30 ℓ/t >

取組内容

感染症終息後も、計画的な運行に努め、エコドライブを意識して運転をする。

「 上水使用量の削減 」

2020年度 目標 0.48 m³/t
 2020年度 実績 0.34 m³/t
 2020年度 総量 9,406 m³
 達成率 141.7%

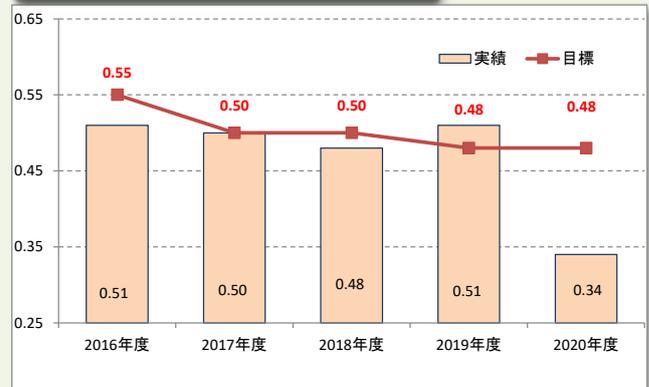
取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。

活動結果と評価

調整池のマメな監視により、配管凍結防止循環運転日数を減らし、雨水の雪解け水の有効利用することで、目標達成できた。

上水使用量の削減 (m³/t)



<2021年度 目標 0.48 m³/t >

取組内容

引き続き、調整池の有効活用の継続を行う。

「 温室効果ガス排出量の削減 」

2020年度 目標 12.7kg-CO₂/t

2020年度 実績 16.3kg-CO₂/t

2020年度 総量 451,535kg-CO₂

達成率 78.1%

取組内容

重油や軽油、受電量の削減と、安定した運転管理を行う。

活動結果と評価

A重油を使用して焼却炉の運転継続をしたこと、また軽油の使用量が増えてしまったことから、目標未達となった。

*令和2年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.000040 (t-CO₂/kWh)

温室効果ガスの削減 (kg-CO₂/t)



<2021年度 目標 12.6kg-CO₂/t>

取組内容

安定した運転を継続することで発電量を増やし、助燃としてのA重油使用量を削減する。

「 発電電力量の増加 」

2020年度 目標 224.0kWh/t

2020年度 実績 220.2kWh/t

2020年度 総量 6,113,010kWh

達成率 98.3%

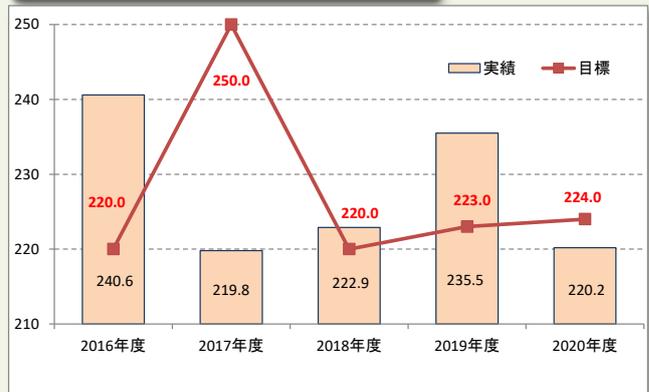
取組内容

安定した燃焼管理により発電電力量の増加を目指す。

活動結果と評価

廃棄物の均一化と安定した燃焼管理で目標達成できた。

発電電力量の増加 (kWh/t)



<2021年度 目標 225.0kWh/t>

取組内容

廃棄物の均一化と安定した燃焼管理を継続する。

「 廃棄物受託量の増加 」

2020年度 目標 29,500 t/年
 2020年度 実績 27,333 t/年
 達成率 92.7%

取組内容

継続的な顧客営業と新規顧客獲得へ注力する。

活動結果と評価

一廃と汚泥系搬入量の増加により達成できた。

廃棄物受託量の増加 (t/年)



<2021年度 目標 29,500 t/年>

取組内容

継続的な情報収集と新規顧客獲得へ注力する。

「 化学物質の削減 」

2020年度 目標 119.0 l/年
 2020年度 実績 98.0 l/年
 達成率 121.4%

取組内容

清缶剤を適正に投入する。

活動結果と評価

清缶剤の使用量が適正であったため、目標達成できた。

化学物質の削減 (l/年)



<2021年度 目標 119.0 l/年>

取組内容

引き続き適正量使用する。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘もありません。

11. 代表者による全体の評価と見直し

1. 結果に対する評価

ほとんどの項目は評価できる結果となっているが、重油使用量の削減は焼却炉の安定操業を心がけて活動すること。

2. 全体の見直し

基本的な活動の見直しはせずに、2017年版ガイドラインの要求事項を踏まえた上で、各取組み項目を継続して取り組むこと。

3. 次期取組みへの指示

各活動の状況を常に把握しながら臨機応変に対応すること。

12. 環境保全活動

イベント関係

実施日	実施項目	実施内容
8月11日	環境整備活動	九戸インターから会社までのゴミ拾い活動
10月30日から 11月30日	環境報告会（事業報告会）	地域住民・県内企業を対象とした事業報告会 コロナ対策のため、資料の設置とホームページで公開する方法で実施
新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	クリーン九戸行動日	九戸村主催のゴミ拾いイベント
	九戸村民スポーツ・レクリエーション大会	九戸村主催のスポーツイベント
	九戸村産業・芸術文化まつり	九戸村商工会主催のイベント

セミナー・講習会

実施日	実施項目	実施内容
7月2・3日	Excel ビジネス活用基礎	エクセルの操作に関する講習
9月10日	メンタルタフネス講座	ストレス耐性に関する講習
10月20日	仕事の生産性向上研修	生産性向上に関する講習
11月26・27日	風通しの良い職場づくり研修	働きやすい職場づくりに関する講習
1月25日	リチウムイオン電池等の発火問題セミナー	処分場の火災問題に関する講習
2月17日	新入社員を受け入れるための先輩研修	新人研修に関する講習
3月2日	産業廃棄物処理優良事業者育成研修会中上級コース	産廃の適正処理に関する講習

実施日	実施項目	実施内容
4月7・8日	有機溶剤作業主任者技能講習	有機溶剤を使用する作業の主任者講習
4月21日	CSR教育・安全教育	就業規則の説明、安全に関する教育
5月19日	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	墜落制止用器具の正しい使い方の教育

CSR教育・安全教育の実施

2020年4月21日(火)に、全従業員を対象としたCSR教育と、現場作業員を中心とした安全教育を実施しました。

CSR教育では、一人ひとりがCSRを理解し、自らの業務において日々実践することを目的として、会社の就業規則について説明を行いました。廃棄物処理業という地域の社会インフラの一部を担う企業として、コンプライアンスの順守、環境問題への配慮、地域社会との共存や貢献に関する従業員教育を、当社は定期的に実施してまいります。

安全教育では、実際の事故事例をもとに、どこに不安全な行為や事象があったかを、討議を交えて行いました。廃棄物処理業は労働災害の発生件数が突出して多い業種です。廃棄物は、大きいもの、小さいもの、液体、個体、袋入り、段ボール入り等、なかには感染性などの極めて取扱いに注意しなければならないものもあります。作業員は処分を依頼された廃棄物を、その都度注意深く扱って処理をしなければなりません。そのため会社は、従業員の安全と健康を確保し、快適な職場環境を整えるとともに、従業員一人ひとりが危険を予知して事故を回避する能力を高める等の従業員教育が必須となります。今後も徹底した安全教育を実施してまいります。



環境整備活動

2020年8月11日、九戸インター入口～道の駅おりつめ敷地内～当社までのゴミ拾い活動をしました。毎年、お盆の帰省の時期にあわせて実施しています。今年は新型コロナウイルスの影響で、例年通りの帰省客はありませんが、ポイ捨てされた空き缶やタバコの吸い殻などのごみは例年通りあり、マナーの悪い人がいることがいつもながら残念でなりません。

日本のみならず、猛暑や集中豪雨などのニュースは頻繁で、地球規模での環境の変化は認めざるを得ない現実です。私たちは明日の世界に対し責任を負っており、来るべき新たな環境に適応することを求められています。温暖化という問題からすればほんの小さな活動ですが、まずはできることから。環境保護として地域貢献として、今後もゴミ拾いを継続していきたいと思えます。



2020年度 避難訓練

2020年10月16日、二戸消防署九戸分署様の指導の下、5番ピットから出火したという想定で避難訓練を実施しました。また、消火器による消火訓練も合わせて実施しました。火災を発生させない対策とともに、万が一、火災が発生した場合に的確な対応ができるよう、訓練してまいります。



13. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
E C O	エコスタッフ講習	2名
	環境社会検定試験（ECO検定）	2名
	エコドライブ講習	1名
管 理 士	産業廃棄物処理施設技術管理士	2名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	2名
	破碎・リサイクル施設技術管理士	1名
廃 棄 物	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	3名
	特別管理産業廃棄物処理業に関する講習（処分業課程）	1名
	特別管理産業廃棄物処分業に関する講習（収集・運搬業課程）	1名
	産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース	15名
ボ イ ラ ー	第2種ボイラー・タービン主任技術者	1名
	1級ボイラー技士	10名
	2級ボイラー技士	11名
	ボイラー整備士	1名
	ボイラー取扱従事者安全衛生教育	1名
電 気	第二種電気工事士	2名
	低圧電気取扱者教育	1名

	資 格 ・ 取 得	取得者数
危 険 物	甲種防火管理者	2名
	乙種第4類危険物取扱者	16名
	丙種危険物取扱者	6名
技 能 講 習 ・ ク レ ーン	高所作業車運転技能講習	3名
	車両系建設機械（整地等）	24名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	22名
	フォークリフト技能講習	26名
	玉掛け技能講習	11名
	ガス溶接技能講習	22名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	12名
	有機溶剤作業主任者技能講習	9名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	6名
	小型移動式クレーン運転技能講習	3名
	床上操作式クレーン運転技能講習	2名
	クレーン運転業務特別教育	18名
	特 別 教 育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育
ダイオキシン類特別教育		32名
安全衛生推進者養成講習		3名
アーク溶接特別教育		20名
粉じん作業特別教育		1名
チェーンソー伐木業務特別教育		2名
普通救急救命講習		32名
自由研削用といし作業特別教育		3名
刈払い機作業安全衛生教育		2名
高所作業車運転技能講習特例講習	2名	

【所在地案内図】



いわて県北クリーン株式会社
(Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.)